

第37期（2021年12月期）第1四半期 決算補足説明資料

2021年5月6日

サイバネットシステム株式会社

（証券コード：4312）

CYBERNET

目 次

◆ 2021年12月期 第1四半期 決算の概況

[連結] 業績の概況	4
[連結] 営業利益の増減要因（前期比）	5
[連結] 貸借対照表	6
[連結] キャッシュ・フロー計算書	7
[連結] 四半期売上高の推移	8
[連結] セグメント別損益の概況	9
[連結] 売上高の各構成推移	10
[連結] 形態別売上高	11
[連結] 地域別売上高	12
コロナ禍での第1四半期の主な取り組み	13
新型コロナウイルス感染症に関する当社の主な取り組み	14

◆ 2021年12月期 業績予想

[連結] 2021年12月期 業績予想	16
[連結] 2021年12月期 配当予想	17

◆ 参考資料

2021年12月期 第1四半期
決算の概況

CYBERNET

[連結] 業績の概況

売上高は、前期比+0.8%の5,160百万円。

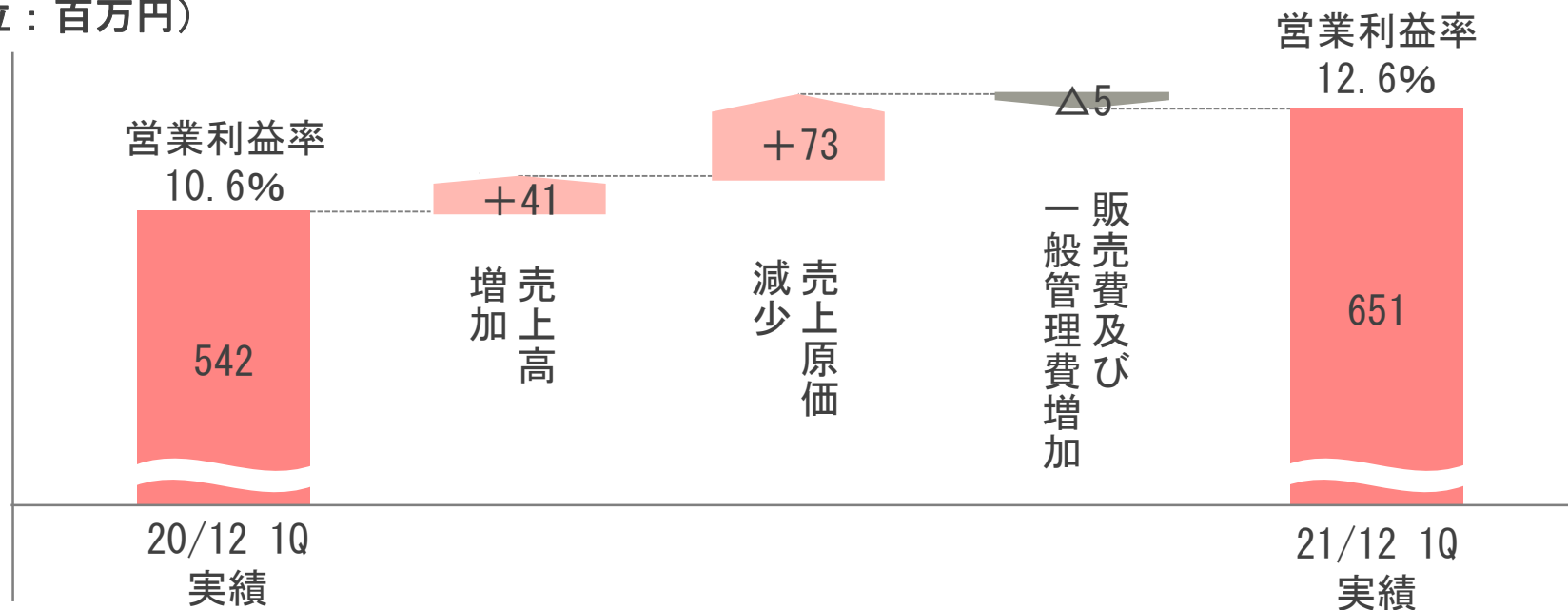
利益面では、営業利益は651百万円（前期比20.1%増）、経常利益は638百万円（前期比10.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は408百万円（前期比2.4%増）。

（単位：百万円）

	20/12 1Q 実績	21/12 1Q 実績	前同差	前同比	21/12 1Q 計画	計画差	計画比
売上高	5,119	5,160	+41	+0.8%	5,150	+10	+0.2%
営業利益	542	651	+109	+20.1%	620	+31	+5.1%
営業利益率	10.6%	12.6%	+2.0pt		12.0%	+0.6pt	
経常利益	578	638	+59	+10.3%	615	+23	+3.8%
経常利益率	11.3%	12.4%	+1.1pt		11.9%	+0.5pt	
親会社株主に帰属する四半期純利益	398	408	+9	+2.4%	400	+8	+2.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	7.8%	7.9%	+0.1pt		7.8%	+0.1pt	

[連結] 営業利益の増減要因（前期比）

（単位：百万円）



前期比主な増減要因

項目	増減要因
売上高	アジアの海外子会社における売上高が好調に推移したこと等により増加
売上原価	製品の売上高構成比率の変動による商品原価の減少等により増加
販売費及び一般管理費	出張費は減少したが、マーケティング費用の増加等により減少

[連結] 貸借対照表

(単位：百万円)

	20/12	21/12 10	前期末差
流動資産	20,205	19,735	△470
現金及び預金	4,418	5,648	+1,229
受取手形及び売掛金	4,440	4,750	+310
有価証券	6,000	5,000	△1,000 ①
短期貸付金	4,469	3,494	△974 ②
その他	876	841	△35
固定資産	2,037	1,983	△54
有形固定資産	387	399	+12
無形固定資産	718	772	+53
投資その他の資産	931	810	△120
資産合計	22,242	21,718	△524
流動負債	6,488	5,852	△636
買掛金	1,482	1,977	+494
未払法人税等	406	84	△322
前受金	2,006	2,070	+64
賞与引当金	651	176	△474
その他	1,940	1,543	△397
固定負債	1,273	1,269	△4
退職給付に係る負債	1,240	1,233	△6
その他	33	36	+2
負債合計	7,762	7,122	△640
純資産合計	14,480	14,595	+115
負債純資産合計	22,242	21,718	△524

前期末比主な増減要因

- ①有価証券（前期末差△1,000百万円）
- 短期資金運用のための満期保有目的債券の減少：△1,000百万円
- ②短期貸付金（前期末差△974百万円）
- 短期資金運用のための親会社へのCMS（キャッシュ・マネジメント・システム）残高の減少：△974百万円

[連結] キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	20/12 1Q 実績	21/12 1Q 実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	△90	△105	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	42	633	+590
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386	△453	△66
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	148	+216
現金及び現金同等物の増減額	△502	222	+725
現金及び現金同等物の期首残高	9,935	10,337	+402
現金及び現金同等物の期末残高	9,433	10,560	+1,127

前期比主な増減要因

項目	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	仕入債務の減少等によりマイナス
投資活動によるキャッシュ・フロー	貸付金の回収による収入の増加等によりプラス
財務活動によるキャッシュ・フロー	配当金の支払額の増加によりマイナス

[連結] 四半期売上高の推移

前期比

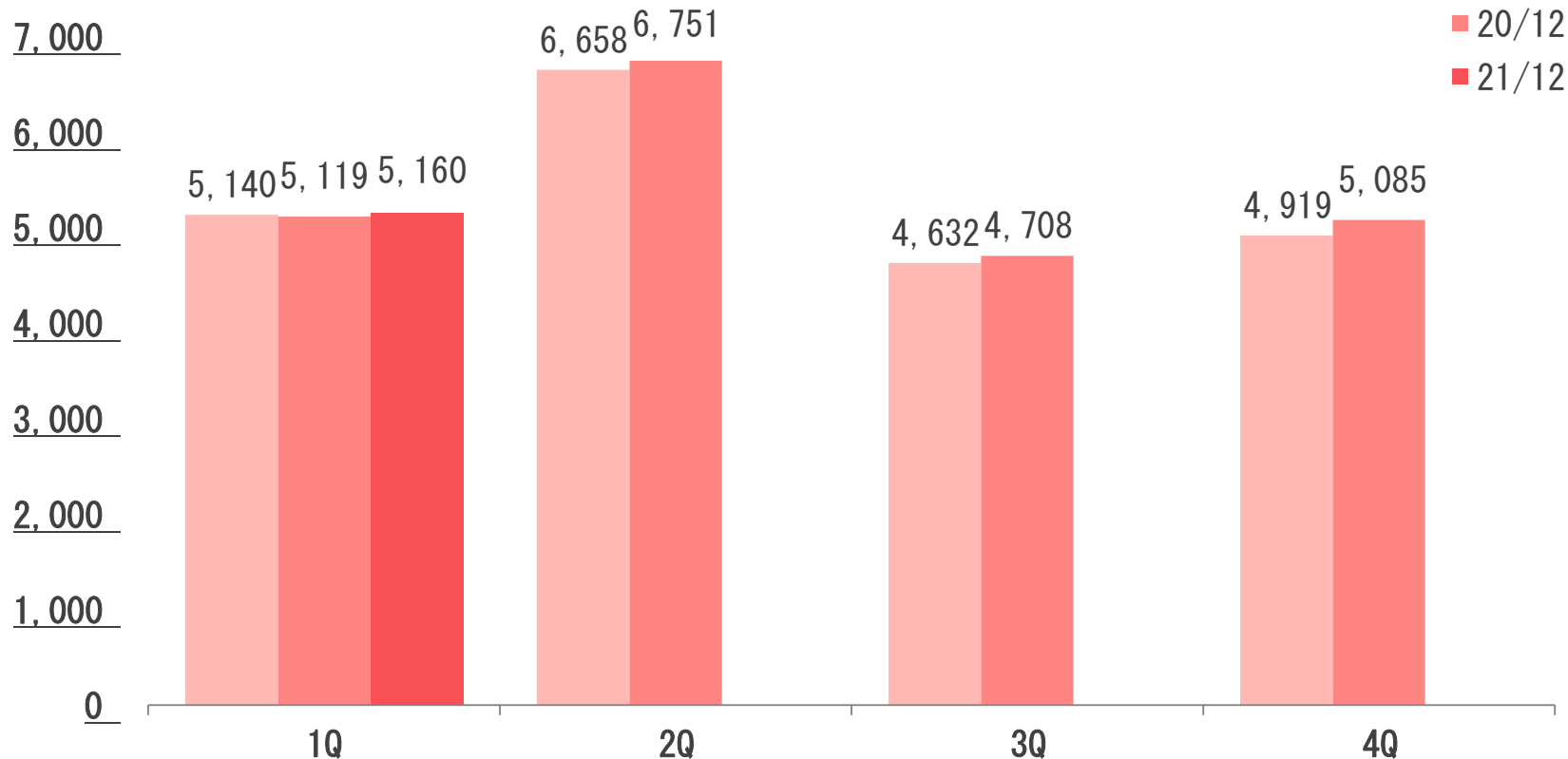
+11.4%	-0.4%	+0.8%
--------	-------	-------

+8.5%	+1.4%
-------	-------

+6.5%	+1.6%
-------	-------

+6.5%	+3.4%
-------	-------

(単位：百万円)



[連結] セグメント別損益の概況

(単位：百万円)

	20/12 1Q		21/12 1Q		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高 合計	5,119	100.0%	5,160	100.0%	+41	+0.8%
CAE	3,962	77.4%	4,136	80.2%	+174	+4.4%
IT	1,156	22.6%	1,023	19.8%	△133	-11.5%
調整額	—	—	—	—	—	—
セグメント利益 合計	542	—	651	—	+109	+20.1%
CAE	785	—	848	—	+63	+8.1%
IT	96	—	158	—	+62	+64.8%
調整額	△339	—	△356	—	△17	—

注) 今回よりセグメントの区分を変更しており、前年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載しております。

セグメント別損益のポイント

セグメント	ポイント
CAE	アジアの海外子会社における売上高が好調に推移したこと等により増収。更に出張経費等の経費の減少等により増益
IT	エンドポイントセキュリティ製品の販売が低調に推移したこと等により減収。その他分野の販売が好調に推移したこと等により増益

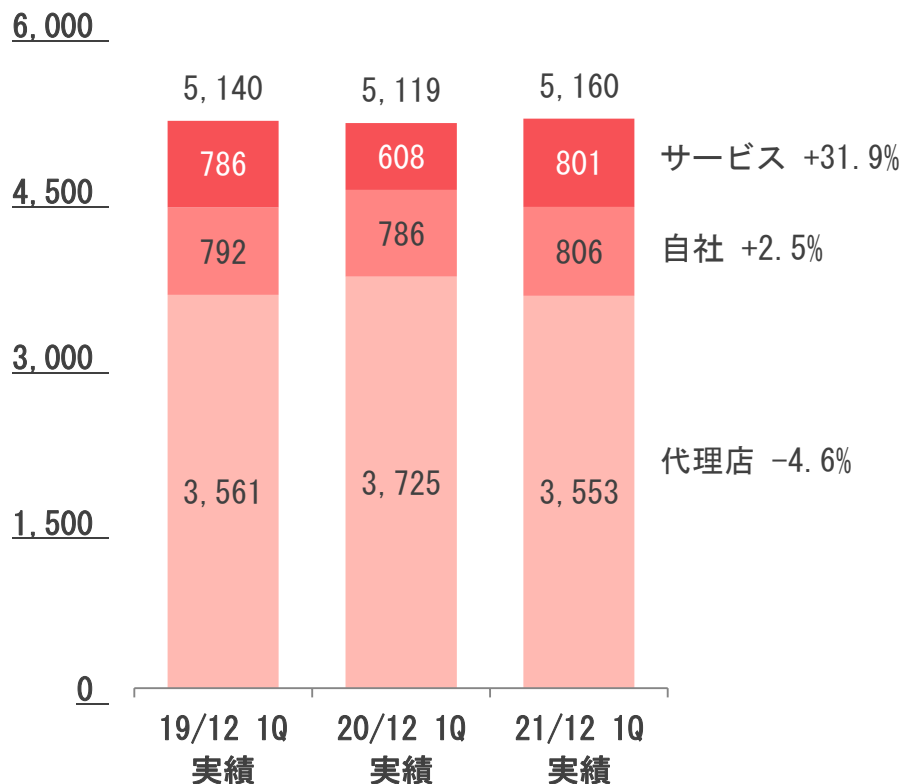
注) CAE：CAEソリューションサービス事業 IT：ITソリューションサービス事業

[連結] 売上高の各構成推移

形態別売上高推移

(単位：百万円)

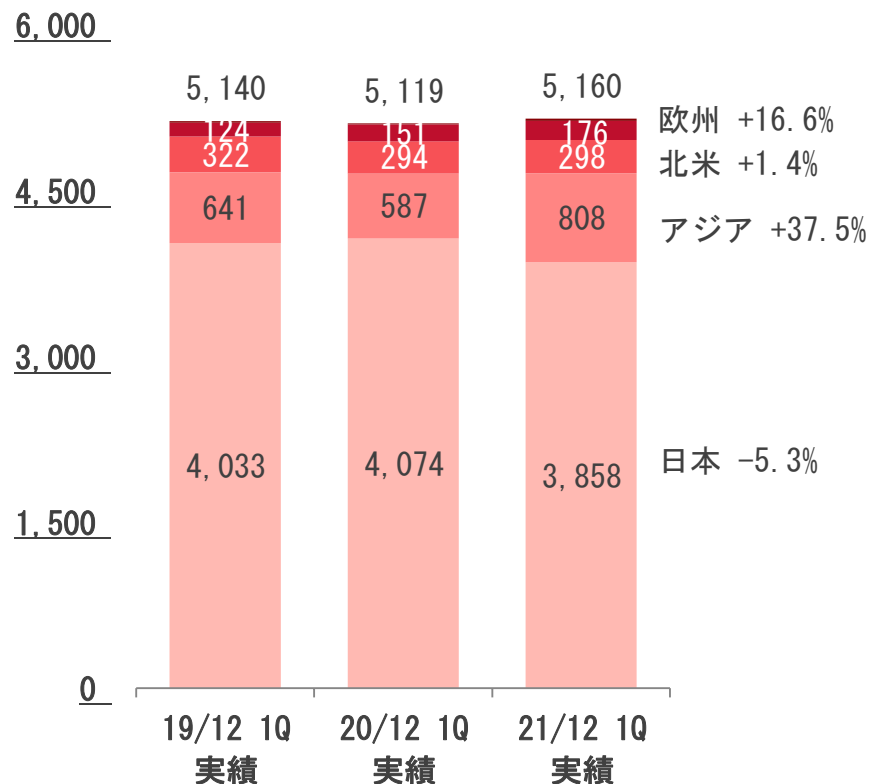
(前同比)



地域別売上高推移

(単位：百万円)

(前同比)



注) 形態別売上高の分類は以下のとおりです。

- 代理店：CAE及びITの代理店ビジネス
- 自社：CAE及びITの自社開発製品
- サービス：CAE及びITのサービス提供

注) 地域について、販売先の地域からエンドユーザーの地域により識別するよう変更しております。

[連結] 形態別売上高

<第1四半期>

(単位：百万円)

	20/12 1Q		21/12 1Q		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
代理店	3,725	72.8%	3,553	68.8%	△172	-4.6%
自社	786	15.4%	806	15.6%	+19	+2.5%
サービス	608	11.9%	801	15.5%	+193	+31.9%
合計	5,119	100.0%	5,160	100.0%	+41	+0.8%

[連結] 地域別売上高

＜第1四半期＞

(単位：百万円)

	20/12 1Q		21/12 1Q		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
日本	4,074	79.6%	3,858	74.8%	△216	-5.3%
アジア	587	11.5%	808	15.7%	+220	+37.5%
北米	294	5.8%	298	5.8%	+4	+1.4%
欧州	151	3.0%	176	3.4%	+25	+16.6%
その他	10	0.2%	18	0.4%	+7	+75.0%
合計	5,119	100.0%	5,160	100.0%	+41	+0.8%

注) 地域について、販売先の地域からエンドユーザーの地域により識別するよう変更しております。

コロナ禍での第1四半期の主な取り組み

第1四半期では合計88回のオンラインイベント、オンラインセミナーを開催（参加者は延べ5,314名（前年同期の開催回数は3回、参加者は延べ137名））し、顧客との接点増加、リード増加に努めております。

【個別】 主なオンラインイベント、オンラインセミナー

セグメント	イベント/セミナー	イベント名/セミナー名
CAE	セミナー（当社主催）	Ansys 2021R1 リリースアップデートセミナー
	セミナー（当社主催）	DXを加速させる、AI・RPAを組み合わせたAnsysによる自動化・効率化
	イベント	バーチャルTECHNO-FRONTIER 2021冬
	イベント	第11回 自動車技術に関するCAEフォーラム2021 オンライン
	イベント	コロナ対策の有効性を可視化するシミュレーション
IT	セミナー（当社主催）	Goldfire 機能別ご紹介セミナー
	セミナー（当社主催）	UEMとIT資産管理ツール活用ポイントを解説
	セミナー（当社主催）	売れ筋「IT資産管理ツール」比較セミナー
	セミナー（当社主催）	テレワーク時代に必要なゼロトラストセキュリティとは

新型コロナウイルス感染症に関する当社の主な取り組み

新型コロナウイルスの影響が長期化しておりますが、お客様、関係者の皆様、従業員及びその家族の安全確保、感染防止に取り組むとともに、“ウイルスとの共存 = 「ウィズコロナ」の時代”を認識し、社会のお役に立てるよう、社員一丸となりサービスをお届けしてまいります。

当社の主な取り組み

お客様 関係者様 向け

- 当社主催セミナーのオンラインへの変更
- オンラインイベントの積極的な参加、当社主催オンラインセミナーの充実（3月2日から4日に「Ansys 2021R1 リリースアップデートセミナー」を開催、延べ1,500人超参加）
- オンラインによる面談の推奨

社内向け

- マスク着用/手洗い/アルコール消毒利用の徹底
- フレックスタイム制度を活用した時差勤務の推奨
- オフィス勤務と在宅勤務（テレワーク）の最適な組み合わせによる業務の実施
- 対人との距離を確保するレイアウトや座席配置の工夫

2021年12月期 業績予想

CYBERNET

[連結] 2021年12月期 業績予想

売上高は、前期比+3.4%の22,400百万円。営業利益は、前期比-6.2%の2,700百万円を計画しております。

(単位：百万円)

	20/12 実績	21/12E 予想	前同差	前同比
売上高	21,665	22,400	+734	+3.4%
営業利益	2,877	2,700	△177	-6.2%
営業利益率	13.3%	12.1%	△1.2pt	
経常利益	2,840	2,670	△170	-6.0%
経常利益率	13.1%	11.9%	△1.2pt	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,561	1,680	+118	+7.6%
親会社株主に帰属する当期純利益率	7.2%	7.5%	+0.3pt	

[連結] 2021年12月期 配当予想

1株当たり26.94円の配当を予定しております。

(単位：円)

	17/12 実績	18/12 実績	19/12 実績	20/12 実績	21/12E 予想
1株当たり配当額	15.05	16.52	20.19	25.05	26.94
1株当たり当期純利益	30.09	△21.07	40.38	50.09	53.88
配当性向	50.0%	—	50.0%	50.0%	50.0%
(参考) 純資産配当率	3.4%	3.8%	4.8%	5.6%	5.7%

利益配分に関する基本方針

当社は、株主に対する配当政策を最重要課題とし、安定的かつ継続的な配当を行いながら、産業界の急激な変化・発展に対応した収益基盤の強化・拡充と、積極的な事業展開に備えるための内部留保に努めることを利益配分の基本としております。

参考資料

CYBERNET

〔個別〕業種別売上高

＜第1四半期＞

(単位：百万円)

	20/12 1Q		21/12 1Q		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
電気機器	796	19.6%	751	19.7%	△44	-5.6%
機械・精密機器	716	17.7%	733	19.3%	+17	+2.4%
輸送用機器	506	12.5%	557	14.6%	+51	+10.1%
その他製造業	753	18.6%	628	16.5%	△124	-16.5%
教育・官公庁	274	6.8%	260	6.8%	△14	-5.2%
情報・通信	237	5.9%	276	7.3%	+38	+16.4%
その他	772	19.0%	601	15.8%	△170	-22.1%
合計	4,057	100.0%	3,810	100.0%	△246	-6.1%

[個別] 契約形態別売上高

<第1四半期>

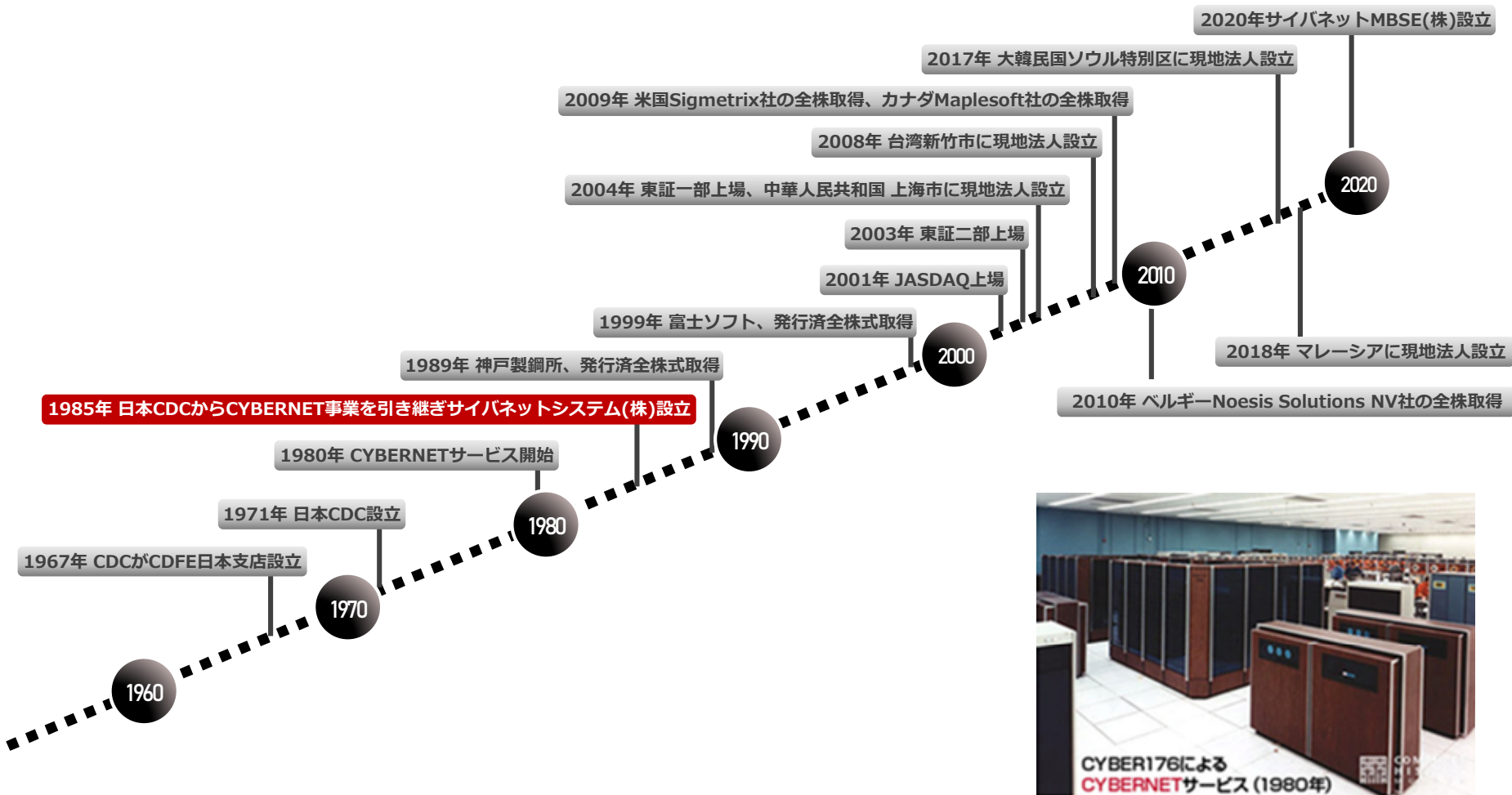
(単位：百万円)

	20/12 1Q		21/12 1Q		前同差	前同比
	実績	構成比	実績	構成比		
ライセンス形態	3,578	100.0%	3,134	100.0%	△443	-12.4%
新規契約	1,284	35.9%	1,005	32.1%	△279	-21.7%
更新契約	2,294	64.1%	2,129	67.9%	△164	-7.2%
ライセンス形態以外	478		676		+197	+41.3%
合計	4,057		3,810		△246	-6.1%

会社概要

名 称	サイバネットシステム株式会社 (東証一部 4312) Cybernet Systems Co., Ltd.	
本 社	東京都千代田区神田練塀町3番地 富士ソフトビル	
拠 点	西日本支社(大阪)、中部支社(名古屋)	
設 立	1985年4月17日	
資 本 金	995百万円	
代 表 者	代表取締役 安江 令子	
社 員 数	622名(連結)、371名(単体) (2020年12月31日現在)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> CAEソリューション、ITソリューション、AR/VR・可視化ソリューション、ビッグデータソリューション分野の科学技術計算ソフトウェアの販売・開発 IoT/デジタルツイン/AI構築支援サービス 各種エンジニアリングサービス 	
開発元提携先	Ansys社、Synopsys社、Broadcom社など米国中心に30社以上	
連結子会社	<p>【国内子会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> サイバネットMBS E株式会社 <p>【開発子会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> Sigmatrrix, LLC (米国) Maplesoft (カナダ) Noesis Solutions NV (ベルギー) <p>【販売子会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> 莎益博工程系統開発(上海)有限公司 (中国) 思渤科技股份有限公司 (台湾) CYFEM Inc. (韓国) CYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシア) 	

沿革



サイバネットのソリューション

CAEソリューション

様々な分野におけるCAEの活用
トータルサポート

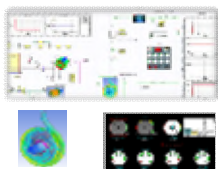


■主な適用分野

- **機械系**：構造物の応力、熱、振動、騒音、流体
- **制御系**：自動車や電子機器の制御装置等の開発
- **光学系 / 測定システム**：光学レンズ、ディスプレイ、照明機器などの開発
- **電気系**：プリント基板回路や高速信号伝送などの設計

IoT・デジタルツイン・AIサービス

IoT活用による製造業の
設備保全とサービタイ
ゼーションを実現



■主な適用分野

- 故障予測の精度向上
- 設備保全の省力化・効率化
- 実験とCAEの連携

AR/VR・可視化ソリューション

先進的な可視化技術
でつなぐ「人と
人」「人とデータ」



■主な適用分野

- **汎用可視化**：シミュレーション、研究開発、実験計測、データの可視化、見える化、
- **AR（拡張現実）・VR（仮想現実）**：人工現実感、複合現実、テレイマージョン、立体視、HMD、シミュレータ
- **医用・医療**：医用画像、CT、MRI、PET、DICOM、超音波検査、放射線医学、内視鏡

ITソリューション

複雑化・クラウド化する
IT環境のセキュリ
ティ向上を提案

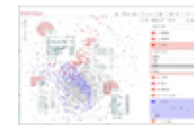


■主な適用分野

- クラウドセキュリティ
- エンドポイントセキュリティ
- メール/webセキュリティ
- IT資産管理
- ITインフラ
- ものづくり支援

ビッグデータソリューション

増え続けるビッグデータ
の有効活用を支援



■主な適用分野

- **MAP化**（データの疎密、外れ値、異常値、全体形状）、データ間の類似性判定、異常検知・監視など

エンジニアリングサービス

専門家集団として技術
者の課題解決を支援

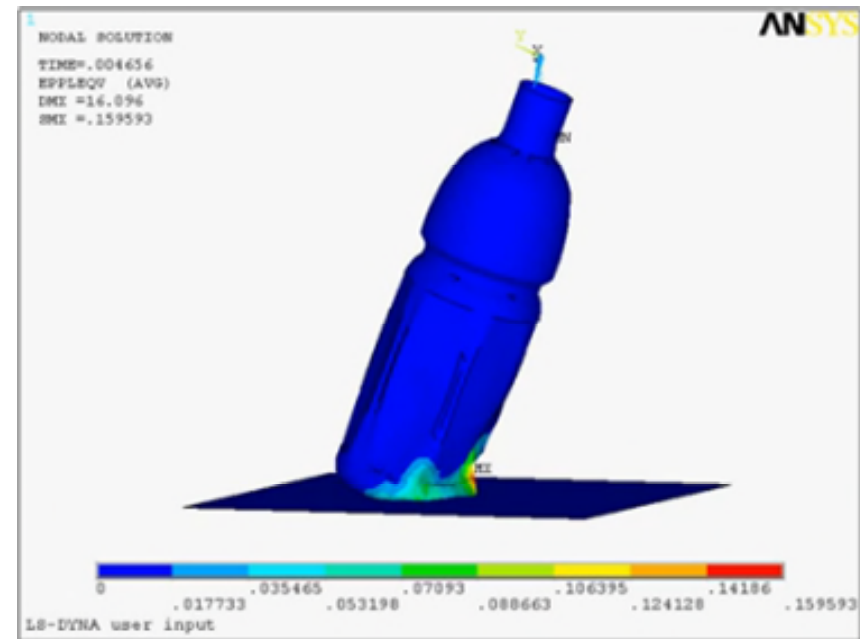
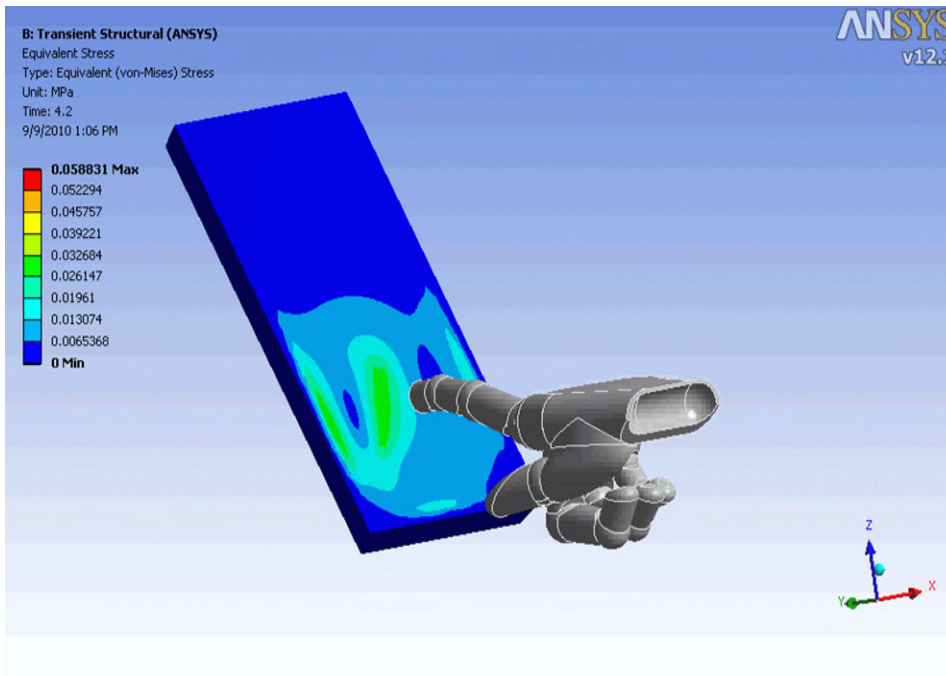


■主な適用分野

- **コンサルテーション**
- **MBSE/MBDプロフェッショナルサービス**：上流設計の最適化、モデリング、開発環境構築、検証環境構築
- **受託開発/解析**：構造解析、流体、電磁界、樹脂流動、音響、複合領域の連成、光学設計、マクロプログラム開発

CAEとは？

「Computer Aided Engineering」の略
直訳すると「コンピュータによる工学支援」



コンピュータ上でデザインされたモデル (CAD*) を仮想実験することで、開発中の製品の性能や信頼を予測するツールです。

*Computer Aided Design

■ IR室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町 3 番地
T E L	03-5297-3066
F A X	03-5297-3609
E - M A I L	irquery@cybernet. co. jp
W e b サイト	https://www. cybernet. jp/

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。

また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。